



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-525-5232
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
http://www.biwa.ne.jp/ffs/
E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

日本がむかえる時代の転換期

2012年年頭にあたって

滋賀銀行従業員組合執行委員長 中島 康隆

当たり前がたさ

昨年は自然に対する畏敬の念を再起させられるとともに、口頃あるのが当たり前のように思っている水・電気などを使うことの方がたさを感じた年でした。さらに、原子力発電についても、廃棄物処理や放射能制御に対する技術力の未熟さなどから、早急に自然エネルギーへ転換していくことの必要性を痛感させられた年でもありました。

民主運動の力

また、格差拡大に反対し米国のウォール街で起こされたデモは圧巻でした。「1%のために99%を犠牲にするな」として全米から全世界へ拡大していきました。これらの運動は、日本ではほとんど報道されてい



ませんが、米国の著名な投資家ウォーレン・バフェット氏ら世界の富裕層が政府に対して「自分たち(富裕層)に課税せよ」と主張するなど、民主運動の影響の大きさを物語るものだと思います。

日本でも沖縄の米軍・普天間基地問題で沖縄のみならずの闘いが、米国の政治家に、移設は非現実的で実現不可能」と発言させ、米本土帰還を主張させるなどの動きも生まれています。

組合の運動と企業の社会的責任

私たちの組合に対して、

また、1月7日に開催された同会主催の「市民大集会」に参加した組合員から、頑張る決意と感想が寄せられました。会場は300人を超える市民であふれていました。ひがしさんを応援する団体や地域からひがしさんを応援する寸劇や合唱などで大いに盛り上がりました。

ひがしさんが公約として「大津市政転換へ7つの処方箋」と公約実現のための財源について考え方を示されると、場内から一際大きな拍手が起りました。

この集会に参加して元気が出て良かったと思えます。何とかしてひがし

大津市長選挙政策協定 地域産業を軸にし、 産業振興と雇用の場の拡大

滋賀銀行従業員組合は、12月12日に開催の機関会議で、「いのちとくらしを守る大津市政をつくる会」と大津市長選挙政策協定を結び同時に東昌子氏を推薦を決定しました。協定した基本政策は、

滋賀銀行従業員組合は、12月12日に開催の機関会議で、「いのちとくらしを守る大津市政をつくる会」と大津市長選挙政策協定を結び同時に東昌子氏を推薦を決定しました。協定した基本政策は、

この集会に参加して元気が出て良かったと思えます。何とかしてひがし

職場の声

新人事制度の再考を！

新しい人事制度がスタートして昨年10月から従来の「総合職」と「事務職」から「総合職」と「特定職」の再選択が行われました。

従業員組合は労使交渉で職選択にあたって「本人の希望を優先し強制はしない」「特定職選択者に対する配属店の配慮」などの諸点を公平性を保つよう特段の要望をしてみました。



「俺は検印を押すだけだ。もつ見てないからな。何か間違いないとら、お前のせいやしな」と言っておられる代理さんがいます。そして後から何か間違いが起ると、「お前がちゃん確認しといてくれなあかんやろ！」と怒ってきます。もちろん間違えてる私にも非がありますが、「これが「本当の代理」さんの言つことなのでしょか？」

「いろいろすることが多くて忙しいなあ」という声も聞きますが、何もせず手をこまねいていては、勝手に滋賀銀行も含めて進む道方向づけられてしまいます。広く世界に眼を向けて、日本のあるべき姿を探求する、それぐらいの大きな考え方をもちたいと思います。しかし、世界で起こった運動がそうであったように日本も時代の転換期に差し掛かっていると思います。この1年間は職場のみならず

国民の命と生活を守る スタートの年に

野田総理が国民に十分な説明をしないまま参加方針を表明したTTPや、まやかしの社会保障の充実を唱えながら格差社会を助長する消費税増税などは許されないことです。

日本が本当に国民のいのちと生活を守る国になるスタートの年となることを祈念して、年初の挨拶とさせていただきます。



さんを大津市長に押し上げられるよう微力ながら頑張ろうと思えました。

